

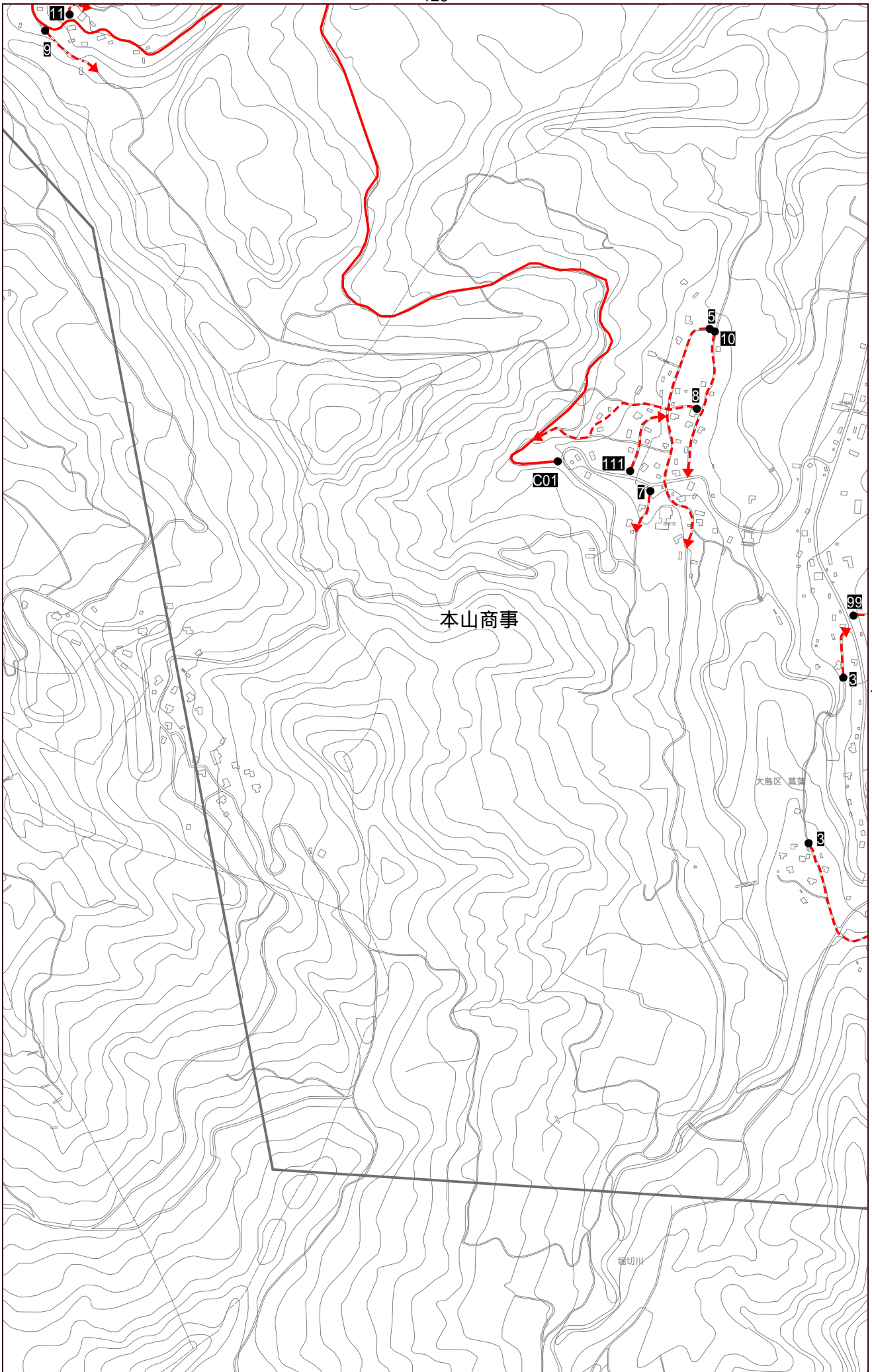
126

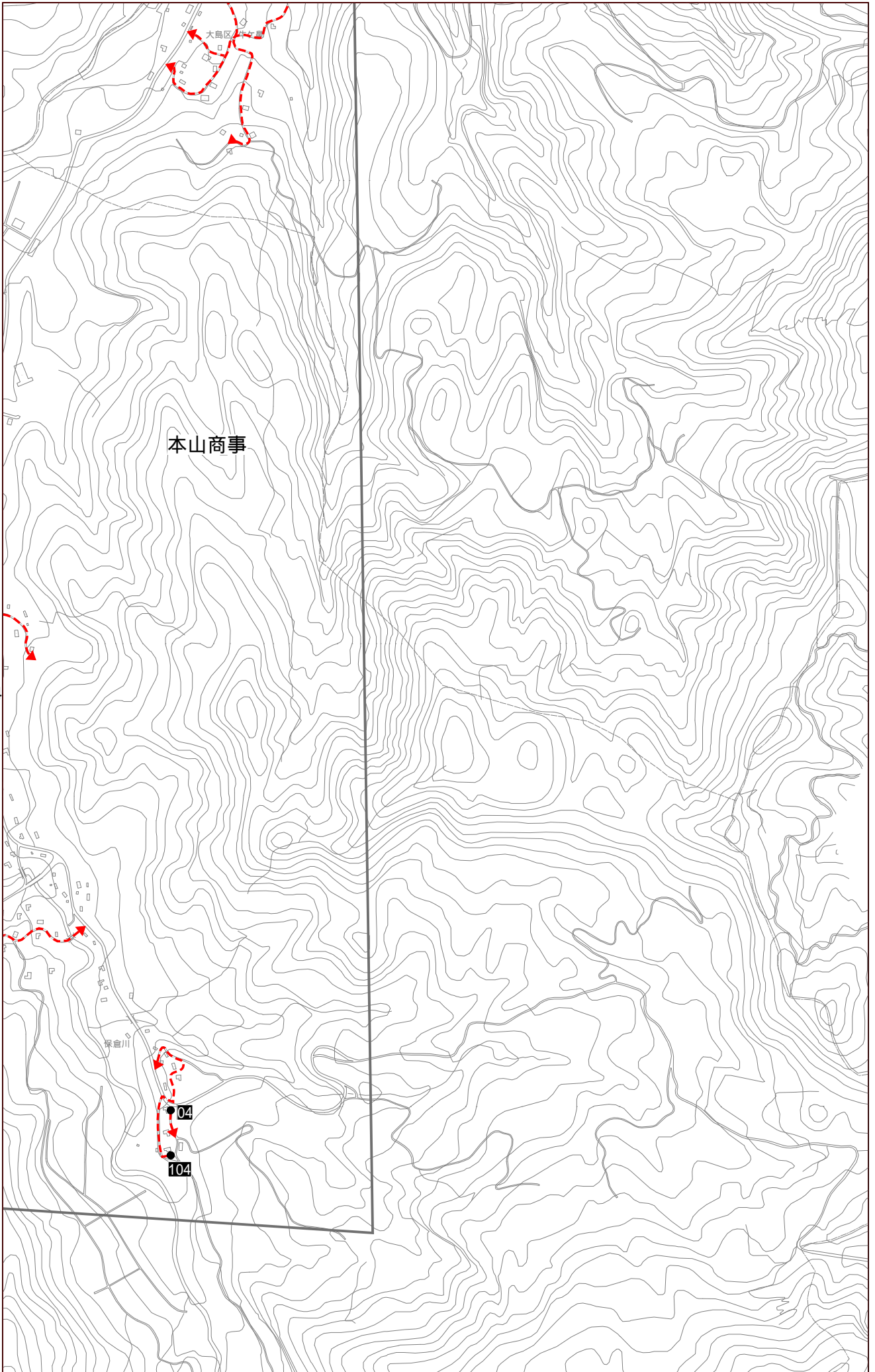
大島農業振興公社

正面倉山

大島農業振興公社

本山商事





144

(単位：千円)

決算書 (P238～P239)	4款1項5目 診療所費	所管課等	地域医療推進室
事業名	大島診療所管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
33,586	29,305	531	2,966		25,808 (使用料ほか)	
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	4,281			42	4,239	

【目的】

大島診療所を運営し、大島区における地域住民の健康保持・増進及び医療不安の軽減を図るとともに、市内の病院との連携により地域医療を確保する。

令和2年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

・開設状況

運営方式	直営
診療日	月曜日から木曜日まで及び土曜日(水曜日及び土曜日は午前のみ)
診療科目	内科、外科、小児科

・診療日数及び延べ患者数

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度
診療日数(日)	292	292	285
延べ患者数(人)	3,922	3,771	3,023
1日平均(人)	13.4	12.9	10.6

・国、県等の交付金を活用した新型コロナウイルス感染症対策等 2,282

(主な内容) 診察室等の手洗器自動水栓取替修繕	670
マスク等の医薬消耗品の購入	190
ワイヤレスドアホン取付修繕	29
発熱者診療スペース専用上肢台の設置	14
新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金	250

決算書 (P238～P239)	4款1項5目 診療所費	所管課等	地域医療推進室
事業名	大島診療所管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区分		平成30年度	令和元年度	令和2年度		
				予算	実績	
①収入	使用料及び手数料	45,376	43,659	37,404	37,018	
	国庫支出金	-	-	-	531	
	県支出金	-	3,635	5,481	2,966	
	諸収入	3,307	3,104	3,498	3,820	
	合計	48,684	50,398	46,383	44,335	
②支出	報酬、職員手当	1,618	1,663	1,736	1,679	
	共済費	226	206	259	226	
	旅費	142	146	272	269	
	需用費	医薬材料費	22,558	23,927	22,155	19,832
		その他	1,236	1,526	2,715	2,168
	役務費	601	670	637	631	
	委託料	3,013	2,887	3,580	3,182	
	使用料及び賃借料	1,464	827	1,721	809	
	備品購入費	378	-	15	14	
	負担金補助及び交付金	231	243	496	495	
	公課費	-	34	-	-	
	合計	31,466	32,129	33,586	29,305	
③公費投入額(②-①)		△17,218	△18,269	△12,797	△15,030	

※正規職員4人(医師1人、看護師2人、事務1人)の人件費40,052千円は、4款1項1目の保健衛生総務費職員人件費に計上

※端数処理のため、合計とその内訳が一致しない場合がある。

【事業の成果】

- ・大島診療所を運営することにより、地域住民が安心して受診できる環境を確保した。
- ・国、県等による新型コロナウイルス感染症関連の交付金を活用し、マスク等医薬消耗品と手洗器自動水栓取替修繕等を行い、感染防止対策や医療提供体制を整えた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・引き続き地域住民の医療不安の軽減に向けて、診療所の安定的な運営に取り組む。

【執行残額について】

○入札差金

- ・備品修繕料 20
- ・営繕修繕料 22

○その他

- ・当初見込んだ患者数を下回ったことに伴う医薬材料費、診療機械借上料等の残 3,419
- ・光熱水費、電話料金等が見込みを下回ったことによる残 820

(単位：千円)

決算書 (P266～P267)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	大島ゆきわり荘管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
1,863	1,583				125 (使用料、謝収入)	1,458
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	280				280	

【目的】

地域の農林産物の特産品づくりにおける研修や地域振興のための会議、交流活動の場を提供することで、農業を通じた市民の生活文化の向上を図る。

令和2年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・大島ゆきわり荘の維持管理及び運営

所在地	大島区大平 3874 番地 1
設置	平成9年度
構造	鉄骨造 2階建
面積	498.26 m ²
管理	直営(業務委託)

○施設の管理実績

- ・利用者数

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			計画	実績
利用者数	931人	835人	-	286人

決算書 (P266～P267)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	大島ゆきわり荘管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				予 算	実 績
①収入	使用料収入	52	52	52	35
	その他	219	221	222	90
	合計	271	273	274	125
②支出	施設維持管理費	2,275	2,215	1,863	1,583
	うち委託料	766	853	773	773
	その他	-	-	-	-
	合計	2,275	2,215	1,863	1,583
③公費投入額(②-①)		2,004	1,942	1,589	1,458
④利用者1人当たりの 公費投入額(単位:円)		2,153	2,326	-	5,098

【事業の成果】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、4月19日から5月10日まで臨時休館としたほか、地域住民による会議等の利用自粛などから、利用者は減少したものの、加工グループに農産加工品(味噌・麴)づくりの場を提供し、地域住民の生きがいづくりや地場農産物の活用に寄与することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・第4次上越市公の施設の適正配置計画において、取組方向を「令和3年度廃止」としたことから、地元等と協議を進めていく。

【執行残額について】

- ・その他:燃料費、光熱水費等の実績が当初の見込みを下回ったため 266
事業実施に伴い端数残額が発生したため 14

(単位：千円)

決算書 (P268～P269)	6款1項3目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	大島農業実習交流センター管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
504	499					499
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	5				5	

【目的】

花や野菜及び稲作栽培などの農作業体験の拠点施設として、適切な管理と効率的な運営を行う。

令和2年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○実施内容、これまでの経過等

- ・大島農業実習交流センターの維持管理及び運営

所在地	大島区牛ヶ鼻 2649 番地
設置	平成7年度
構造	鉄骨造2階建
面積	302.58 m ²
管理	直営(業務委託)

○施設の管理実績

- ・利用者数

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			計画	実績
利用者数	5,037人	5,073人	-	243人

決算書 (P 268～P 269)	6 款 1 項 3 目 農業振興費	所管課等	農村振興課
事業名	大島農業実習交流センター管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	
			予 算	実 績
①収入	使用料収入	-	-	-
	その他	436	476	-
	合計	436	476	-
②支出	施設維持管理費	1,198	1,068	504
	うち委託料	442	262	222
	その他	-	-	-
	合計	1,198	1,068	504
③公費投入額 (②-①)		762	592	504
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位:円)		151	117	2,053

【事業の成果】

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、4月19日から5月10日まで臨時休館としたほか、農業体験の受入れがなかったことなどから、施設の利用が大幅に減少したが、地域農業の拠点施設として効率的な運営に努めた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・第4次上越市公の施設の適正配置計画において、取組方向を「令和3年度貸付又は譲渡」としたことから、地元等と協議を進めていく。

【執行残額について】

- ・その他：事業実施に伴い端数残額が発生したため 5

出資法人等経営状況報告書

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和3年8月24日	担当部署	農林水産部 農政課
-------	-----------	------	-----------

※以下は令和3年3月31日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人名	公益財団法人 大島農業振興公社		
代表者	理事長 丸山 晴己		
	<input checked="" type="checkbox"/> 常勤	<input type="checkbox"/> 非常勤	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー <input type="checkbox"/> 市兼務 <input type="checkbox"/> その他
所在地	新潟県上越市大島区牛ヶ鼻 2649 番地		
設立年月日	平成6年3月7日		
基本金	51,000 千円	市出捐割合	98.0%
設立目的	上越市大島区の区域における農業の担い手の育成、農作業の支援等を行うことにより、中山間地域の農業生産の維持及び向上並びに農地の効率的利用を図り、もって、大島区の区域の農業振興に寄与することを目的に設立。		
主な事業	(1) 農業の担い手の育成に関する事業 (2) 農作業の支援に関する事業 (3) 農用地の保全に関する事業 (4) 前3号に掲げる事業に関する情報の収集及び提供に関する事業 (5) 農地の有効利用及び効率的な使用を促す農地の貸し借り等権利調整に関する事業 (6) 技術習得等を目的とした研修等事業 (7) その他この法人の目的を達成するために必要な事業		

3 役員数

(単位：人)

	常勤	非常勤	計	内訳		
				プロパー	市兼務	その他
理事	1	6	7	7	0	0
監事	0	2	2	2	0	0
計	1	8	9	9	0	0

4 職員数

(単位：人)

	計	内訳	
		プロパー	市兼務
正社員	4	4	0
その他	0	0	0
計	4	4	0

5 事業実績（概要）

米の販売量の減少や、園芸部門のアスパラガスが植替え時期を迎え、収量が減少した一方で、市道除雪路線数が増加したことで、経常収益は前期比 3,183 千円増（5.3%増）の 62,860 千円となった。また、除雪車両の更新に伴う古い除雪車両の売却益として、経常外収益 1,958 千円を計上したこともあり、当期一般正味財産増減額は前期比 3,146 千円増の 1,439 千円となり、最終的に正味財産は前期比 549 千円増の 87,326 千円となった。

○農作業支援事業

農業従事者の高齢化や後継者不足による耕作放棄地の発生防止のため、次の事業を実施した。

・基幹農作業受託事業

項目	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
	受託面積	受託面積	受託面積
耕うん	5.4 ha	5.7 ha	4.9 ha
代かき	9.9 ha	7.3 ha	6.8 ha
田植	7.0 ha	6.0 ha	4.6 ha
刈取	10.0 ha	9.1 ha	10.4 ha
延べ面積	32.3 ha	28.1 ha	26.7 ha

・農地集積及び農地借入れによる農業経営

担い手への農地集積を推進するとともに、受け手がない農地については公社自らが担い手となり管理耕作した。

生産した米は、「おおしま育ち」の名称で全国各地へ販売した。品質・安全性等の面で好評を得るも、販路が固定化し減少傾向にある。

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
借入面積	37.7 ha	33.3 ha	14.6 ha
公社耕作面積 (水稲作付面積)	21.6 ha (15.3 ha)	21.9 ha (15.7 ha)	12.5 ha (12.0 ha)
水稲収穫量 (10a 当たり収量)	51 t (5.5 俵)	70 t (7.4 俵)	61 t (8.5 俵)

○園芸事業

・花苗生産

上越市との契約及び J A えちご上越の協力により、温室 2 棟を活用し花苗の生産を行った。

・農産物生産

将来的に安定した収入を目指し、アスパラガスの栽培に取り組んでいるが、定植後 10 年が経過し、植替えが必要なため、販売額が減少した。(H23 定植 10 a、H24 定植 10 a)

区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
花苗生産 (千円)	4,889	4,590	4,692
野菜生産等 (千円)	5,170	4,291	2,351
合計 (千円)	10,059	8,881	7,043

○大島農業実習交流センター管理事業（市からの業務受託）

○地域マネジメント組織の事務を支援

集落を超えて連携し地域の課題に取り組む組織の支援（中山間地域等直接支払交付金など）を行った。大島区農業振興会（13 支部）、多面的機能支払（11 組織）

6 財務状況（税抜）

（単位：千円）

項 目		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
		自 平成 30 年 4 月 1 日 至 平成 31 年 3 月 31 日	自 平成 31 年 4 月 1 日 至 令和 2 年 3 月 31 日	自 令和 2 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 3 月 31 日
正味財産増減計算書	一般正味財産増減の部			
	経常収益	61,145	59,676	62,860
	基本財産運用益	5	5	5
	特定資産運用益	0	0	0
	受取会費	0	0	0
	事業収益	50,882	52,202	57,034
	受取補助金等	6,350	6,924	5,264
	その他経常収益	3,908	545	557
	経常費用	62,349	61,383	63,379
	事業費	60,740	59,768	60,935
	管理費	1,610	1,615	2,443
	当期経常増減額	△1,204	△1,707	△519
	経常外収益	1,300	0	1,958
	経常外費用	0	0	0
	当期経常外増減額	1,300	0	1,958
	税引前当期一般正味財産増減額	96	△1,707	1,439
	法人税等	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	96	△1,707	1,439
	一般正味財産期首残高	34,563	34,658	32,951
	一般正味財産期末残高	34,658	32,951	34,391
指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	△570	1,350	△890	
指定正味財産期首残高	53,045	52,475	53,825	
指定正味財産期末残高	52,475	53,825	52,935	
正味財産期末残高	87,134	86,777	87,326	
項 目	平成 31 年 3 月 31 日現在	令和 2 年 3 月 31 日現在	令和 3 年 3 月 31 日現在	
貸借対照表	資 産	100,220	98,030	101,585
	負 債	13,087	11,254	14,259
	正味財産	87,134	86,777	87,326
	指定正味財産	52,475	53,825	52,935
	一般正味財産	34,658	32,951	34,391

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

7 市からの財政支出等

(1) 委託額 (税込)

(単位：千円)

内訳		平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
①	農業実習交流センター委託	340	159	118	
②	除雪作業委託	3,724	3,157	10,943	
③	温室除排雪作業委託	1,063	204	1,085	
④	公共花壇等管理運営業務委託	6,489	6,582	6,511	
計		11,616	10,102	18,657	

(2) 財政援助額 (税込)

(単位：千円)

内訳		平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
①	補助金 (助成金)	3,070	3,180	3,180	
②	貸付金	0	0	0	
③	損失補償	0	0	0	
④	債務保証	0	0	0	
⑤	その他 ()	0	0	0	
計		3,070	3,180	3,180	

8 今後の経営計画等

(1) 次期事業計画

設立当初の基本理念及び定款に定める目的に基づいた事業展開を行い、また、関係機関との連携を図り、農政活動や地域農業への支援体制を強化するとともに、公社自身の経営の健全化及び財政的な自立に向けた努力を継続し、地域農業を支える公社機能の充実に努める。

項目	令和3年度計画	令和2年度実績
農作業支援事業 (農作業受託事業)	24.5 ha	26.7 ha
地域農業活性化事業 (管理耕作分)	12.9 ha	12.0 ha
花苗生産	4,303 千円	4,692 千円
野菜生産等	2,526 千円	2,351 千円
植栽管理	1,627 千円	2,979 千円
マネジメント事業	3,555 千円	3,641 千円

(2) 中長期経営計画

なし

(単位：千円)

決算書 (P276～P277)	6款2項1目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	市民の森管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他 (雑収入)	一般財源
17,767	17,446				107	17,339
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
	321		250	39	32	

【目的】

地域の豊かな自然に触れる憩いの場を提供するとともに、森林を守り、育てる体験等を通じて自然環境に関する意識の高揚が図られるよう、施設の適切な管理と効率的な運営を行う。

令和2年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

くわどり市民の森 14,778

○令和2年度目標

- ・利用者数 6,000人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	大字西谷内488番2
設置	平成14年度
施設	管理棟、分区林、遊歩道ほか
面積	272.0ha
管理	指定管理

・指定管理の状況

導入開始年度	平成18年度
指定管理者	特定非営利活動法人かみえちご山里ファン倶楽部
指定の期間	平成31年4月1日から令和6年3月31日

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			計画	実績
利用者数	6,114人	5,219人	6,000人	4,160人

決算書 (P276～P277)	6 款 2 項 1 目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	市民の森管理運営費		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	
				予 算	実 績
①収入		170	-	-	-
②支出	くわどり市民の森 管理運営委託料	13,825	14,156	14,156	14,156
	管理運営委託料 以外の経費	1,376	1,163	626	622
	合計	15,201	15,319	14,782	14,778
③公費投入額 (②-①)		15,031	15,319	14,782	14,778
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位:円)		2,458	2,935	2,464	3,552

○指定管理者の収支状況等

区 分		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	258	243	240	266
	くわどり市民の森 管理運営委託料	13,825	14,156	14,156	14,156
	その他	274	205	200	165
	合計	14,357	14,604	14,596	14,587
②支出		14,356	14,602	14,596	14,581
差引 (①-②)		1	2	0	6

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響を受け、4月19日から5月10日まで臨時休園としたほか、木工作体験や収穫祭などのイベントが縮小されたことから、利用者数は目標の6,000人に対して4,160人と目標を下回った。

光ヶ原わさび田の森、光ヶ原みずばしょうの森 292

○実施内容、これまでの経過等

- ・施設の概要

所在地	板倉区関田 4049 番地 (光ヶ原わさび田の森) 板倉区筒方 3251 番地 (光ヶ原みずばしょうの森)
設置	平成 13 年度
施設	木道、遊歩道ほか
面積	光ヶ原わさび田の森 5.9ha 光ヶ原みずばしょうの森 9.7ha
管理	直営 (業務委託)

決算書 (P276～P277)	6款2項1目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	市民の森管理運営費		

二貫寺の森 1,507

○令和2年度目標

・利用者数 500人

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	大字杉野袋102番地1
設置	平成23年度
施設	管理棟、遊歩道ほか
面積	28.0ha
管理	直営(業務委託)

○施設の管理実績

・利用者数等

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			計画	実績
利用者数	653人	1,024人	500人	534人

※市主催のイベントや諏訪地区公民館の事業、外部団体等による利用者、小学校の総合学習等での利用者で、人数が把握できたものを実績とした。

・施設管理における市の収支状況

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
			予算	実績	
①収入	イベント参加費	8	9	15	10
	合計	8	9	15	10
②支出	施設維持管理費	1,751	1,606	1,726	1,471
	うち委託料	1,436	1,398	1,340	1,134
	その他	53	45	51	36
	合計	1,804	1,651	1,777	1,507
③公費投入額(②-①)		1,796	1,642	1,762	1,497
④利用者1人当たりの公費投入額(単位:円)		2,750	1,604	3,524	2,803

○目標達成状況

・市主催のイベントのほか、市内の小学生が総合学習等の授業で利用されたことから、目標を達成することができた。

決算書 (P276～P277)	6款2項1目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	市民の森管理運営費		

あさひの里田麦ぶなの森園 869

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地	大島区田麦 363 番地 5
設置	平成 5 年度
施設	管理棟、トイレ、遊歩道ほか
面積	90.0ha
管理	直営（業務委託）

○施設の管理実績

・利用者数等

区 分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	
			計 画	実 績
利用者数	582 人	397 人	-	75 人

※民間施設の利用者で、人数が把握できたものを実績とした。

・施設管理における市の収支状況

区 分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	
			予 算	実 績
①収入	使用料収入	-	-	-
	その他	95	95	42
	合計	95	95	42
②支出	施設維持管理費	920	865	889
	うち委託料	409	441	458
	その他	-	-	-
	合計	920	865	889
③公費投入額 (②-①)	825	770	847	772
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位：円)	1,418	1,940	-	10,293

【事業の成果】

くわどり市民の森

- ・新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で、毎月内容が変わる木工作体験や自然観察会を実施した。
- ・施設周辺の草刈りや散策コースの整備及び定期点検を行うことにより、利用者が安全に活動できるよう適切な維持管理に努め、自然環境に関する意識の醸成の場を提供することができた。

決算書 (P276～P277)	6款2項1目 林業総務費	所管課等	農林水産整備課
事業名	市民の森管理運営費		

光ヶ原わさび田の森、光ヶ原みずばしょうの森

- ・施設の維持管理を適切に行い、信越トレイルの登山客などの休憩及び散策施設として提供することができた。

二貫寺の森

- ・新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で、市主催の自然体験イベントなどを3回開催したほか、市内小学校の自然学習の場として利用され、自然環境に関する意識の高揚が図られた。また、施設内の定期的な草刈り、ツリーハウスの修繕などを実施し、適切な維持管理を行った。

あさひの里田麦ぶなの森園

- ・広大なぶな林の中の遊歩道の維持管理を適切に行い、自然に触れる場を提供することができた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

くわどり市民の森

- ・散策道の修繕や木工作体験などイベントの内容を充実させ、四季の植物や散策道の見どころなどを市ホームページやSNSにより広く情報を発信し、利用者促進に努める。

光ヶ原わさび田の森、光ヶ原みずばしょうの森

- ・第4次上越市公の施設の適正配置計画において、取組方向を「令和3年度廃止」としたことから、地元等と協議を進めていく。

二貫寺の森

- ・利用者に環境や生態系の学習の場を提供するため、維持管理を適切に行うとともに、イベントの開催内容を充実するなど、利用促進を図っていく。

あさひの里田麦ぶなの森園

- ・第4次上越市公の施設の適正配置計画において、今後の施設の取組方向を示したことから、同計画に基づいた調整や取組を進めていく必要がある。

【執行残額について】

- ・事業未実施：害虫駆除業務委託料等の未実施によるもの 250
- ・入札差金：入札等に伴い執行残額が発生したため 39
修繕料(12) 委託料(27)
- ・その他：手数料、保険料、消耗品費等の実績が当初の見込みを下回ったため 24
事業実施に伴い端数残額が発生したため 8

(単位：千円)

決算書 (P280～P281)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	菖蒲高原緑地休養広場管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
6,285	6,265			4,900		1,365
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	20			19	1	

【目的】

信越トレイル周辺のブナ原生林や四季折々の植物など、自然を身近に感じられる活動の場を提供することにより、市民の健康増進を図る。

令和2年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和2年度目標

- ・施設利用者数 2,000人

○実施内容、これまでの経過等

- ・施設の概要

名称	菖蒲高原緑地休養広場
位置	大島区菖蒲 2962 番地 1
設置目的	森林の有する幅広い効用を活用するとともに、野外での交流等の場を提供することにより、地域住民の連帯感の醸成及び市民の健康増進並びに農林業者の就業機会の拡大に寄与する。

- ・指定管理の状況

導入開始年度	平成 18 年度
指定管理者	菖蒲高原管理運営組合
指定の期間	平成 31 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日

○施設の管理実績

- ・利用者数等

区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	
			計画	実績
利用者数	2,715 人	2,990 人	2,000 人	1,139 人
宿泊者数	713 人	659 人	-	126 人
日帰り者数	2,002 人	2,331 人	-	1,013 人

決算書 (P280～P281)	6款2項4目 林業構造改善事業費	所管課等	農林水産整備課
事業名	菖蒲高原緑地休養広場管理運営費		

・指定管理者制度導入施設における市の収支状況

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				予 算	実 績
①収入		-	-	-	-
②支出	菖蒲高原緑地休養広場管理運営委託料	6,290	6,137	4,955	4,955
	管理運営委託料以外の経費	521	672	1,330	1,310
	合計	6,811	6,809	6,285	6,265
③公費投入額(②-①)		6,811	6,809	6,285	6,265
④利用者1人当たりの公費投入額(単位:円)		2,509	2,277	3,143	5,500

○指定管理者の収支状況等

区 分		平成30年度	令和元年度	令和2年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	2,290	2,371	1,100	543
	菖蒲高原緑地休養広場管理運営委託料	6,290	6,137	4,955	4,955
	その他	1,259	1,280	700	893
	合計	9,839	9,788	6,755	6,391
②支出		9,107	8,442	6,755	5,803
差引(①-②)		732	1,346	0	588

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少し目標を達成することができなかった。

【事業の成果】

- ・利用者は減少したが、施設内の維持管理を適切に行い、野外での交流等の場を提供することにより、市民の健康増進が図られた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・新型コロナウイルス感染防止対策を徹底した上で、周辺の観光スポットと連携を図り、更なる利用者の増加に取り組む。

【執行残額について】

- ・入札差金：入札に伴い執行残額が発生したため 19
修繕料(19)
- ・その他：事業実施に伴い端数残額が発生したため 1

(単位：千円)

決算書 (P288～P289)	7款1項2目 商工振興費	所管課等	産業政策課
事業名	商業振興支援事業		

予算現額	執行額	執行額の・財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
57,232	52,431			4,400	5,940 (繰入金)	42,091
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	4,801		78		4,723	

【目的】

商工団体等が実施する賑わい創出のためのイベントや、地域事業者の主体的な取組への支援を通じて集客力の向上や売上げの増加を図り、地域経済の活性化につなげていく。

令和2年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

大島やまざくら管理運営業務 4,202

○令和2年度目標

- ・施設利用者数 43,600人

○実施内容、これまでの経過等

生鮮食品や日用品を扱うスーパーマーケットである「大島やまざくら」の運営を指定管理業務として委託するとともに、経営改善と売上げの維持・確保に向けた助言を行った。

- ・指定管理者 有限会社やまざくら
- ・指定期間 平成31年4月1日から令和6年3月31日

【施設の利用実績】

(1) 利用者数

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			計画	実績
利用者数	48,854人	46,722人	43,600人	43,163人

決算書 (P 288～P 289)	7 款 1 項 2 目 商工振興費	所管課等	産業政策課
事業名	商業振興支援事業		

(2) 指定管理者制度導入施設における市の収支状況（税込）

区 分		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	
				予 算	実 績
①収入		-	-	-	-
②支出	大島やまざくら 管理運営委託料	4,714	3,886	4,202	4,202
	公共建築物定期 点検業務委託料	-	159	-	-
	事業用備品購入費	443	-	-	-
	営繕修繕料	-	197	-	-
	合 計	5,157	4,242	4,202	4,202
③公費投入額（②-①）		5,157	4,242	4,202	4,202
④利用者 1 人当たりの 公費投入額（単位：円）		106	91	96	97

(3) 指定管理者の収支状況等

区 分		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	
				計 画	実 績
①収入	利用料金収入	-	-	-	-
	大島やまざくら 管理運営委託料	4,365	3,565	3,820	3,820
	その他	60,661	58,701	59,896	58,271
	合計	65,026	62,266	63,716	62,091
②支出		63,109	61,459	63,190	59,930
差引（①-②）		1,917	807	526	2,161

※金額は全て税抜き

○目標達成状況

- 施設利用者数は、地域の人口減少及び高齢化の影響により、令和元年度に比べ 7.6%減少したものの、計画比 99.0%（43,163 人）となり、おおむね目標を達成した。

地域商業活性化事業補助金 15,132

○令和 2 年度目標

補助件数：一般枠 1 件、特別枠 14 件

一般枠（380）

○実施内容、これまでの経過等

一つの地域自治区の商店街や複数の地域自治区の団体等が連携し、地域商業の活性化に資する事業を行う団体を支援

出資法人等経営状況報告書

1 作成年月日及び担当部署

作成年月日	令和3年8月24日	担当部署	産業観光交流部 産業政策課
-------	-----------	------	---------------

※以下は令和3年3月31日現在の内容です。

2 法人等の概要

法人名	有限会社 やまざくら		
代表者	取締役 岩野 虎治		
	<input type="checkbox"/> 常勤	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤	<input checked="" type="checkbox"/> プロパー
	<input type="checkbox"/> 市兼務	<input type="checkbox"/> その他	
所在地	新潟県上越市大島区大平 3874 番地 1		
設立年月日	平成9年7月14日		
基本金	11,600 千円	市出捐割合	98.3%
設立目的	上越市の食料品等販売施設「大島やまざくら」の管理運営を通じ、若者を中心とする人口流出による過疎化が進む大島区において、生鮮食料品の販売を中心とした営業を展開し、住民生活の利便の向上を図る。		
主な事業	(1) 大島やまざくらの管理・運営 (2) 大島やまざくらの経営（米穀類、農産物、山菜、花卉、食料品、清涼飲料水、日用品雑貨、酒類及びたばこの販売） (3) 移動販売車による食料品等の販売		

3 役員数

(単位：人)

	常勤	非常勤	計	内訳		
				プロパー	市兼務	その他
取締役	0	1	1	1	0	0
監査役	0	1	1	1	0	0
計	0	2	2	2	0	0

4 職員数

(単位：人)

	計	内訳	
		プロパー	市兼務
正社員	2	2	0
その他	4	4	0
計	6	6	0

5 事業実績（概要）

- ・第24期（令和2年度）の売上高は61,204千円（計画62,966千円に対し1,762千円の減）、営業利益2,146千円（計画△267千円に対し2,413千円の増）、当期純利益2,162千円（計画1千円に対し2,161千円の増）でした。
- ・大島区の人口減少を背景に、利用者が前年比7.6%減少しましたが、売上高は前年比0.3%の減少にとどまりました。売上高の維持は、コロナ禍における巣ごもり需要の増加等により、利用者一人当たりの単価が上がったことに起因するものになります。
- ・売上原価率（指定管理料を除く売上高に対する売上原価）について、令和2年度は75.0%であり、令和元年度75.8%から0.8%改善されました。前年度に引き続き、曜日や天候に応じた仕入れによる廃棄ロス削減、過度な値引きの見直しなどに取り組んだ結果、売上原価率が圧縮できています。
- ・販売費及び一般管理費は、16,014千円（前年度1,204千円減少）となりました。2名の正社員のうち1名が育児休業を取得したことにより、一時的にパート社員の割合が増加し人件費が圧縮されたことが要因となります。
- ・客単価の向上、売上原価率の低減に取り組み、販売費及び一般管理費が抑えられた結果、当期純利益2,162千円を計上できました。

【売上高の実績】（税抜）

（単位：千円）

部門	第22期	第23期	第24期
	（平成30年度）	（令和元年度）	（令和2年度）
店舗	48,953	46,891	46,705
移動販売	10,812	10,959	10,679
指定管理料	4,365	3,565	3,820
合計	64,131	61,415	61,204

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

【利用者数の実績】

（単位：人）

部門	区分	第22期	第23期	第24期
		（平成30年度）	（令和元年度）	（令和2年度）
店舗	目標	54,000	39,500	40,000
	実績	43,213	40,956	37,756
移動販売	目標	3,100	5,600	5,800
	実績	5,641	5,766	5,407
合計	目標	57,100	45,100	45,800
	実績	48,854	46,722	43,163

6 財務状況（税抜）

（単位：千円）

項 目		第 22 期	第 23 期	第 24 期
		自 平成 30 年 4 月 1 日 至 平成 31 年 3 月 31 日	自 平成 31 年 4 月 1 日 至 令和 2 年 3 月 31 日	自 令和 2 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 3 月 31 日
損益計算書	売上高	64,131	61,415	61,204
	売上原価	46,429	43,836	43,044
	売上総利益	17,702	17,579	18,160
	販売費及び 一般管理費	16,025	17,218	16,014
	営業利益	1,676	361	2,146
	営業外収益	896	852	843
	営業外費用	28	15	1
	経常利益	2,545	1,198	2,988
	特別利益	1	1	44
	特別損失	0	0	0
	税引前当期純利益	2,546	1,199	3,032
	法人税等	629	391	870
当期純利益	1,917	809	2,162	
項 目		平成 31 年 3 月 31 日現在	令和 2 年 3 月 31 日現在	令和 3 年 3 月 31 日現在
貸借対照表	資 産	16,133	15,154	18,170
	負 債	4,637	2,850	3,704
	純資産	11,496	12,304	14,466
	資本金	11,600	11,600	11,600
	利益剰余金	△104	704	2,866
その他	0	0	0	

※ 金額については、千円未満を四捨五入して表示しており、端数処理の関係上、決算書及び計算結果と一致しない場合があります。

7 市からの財政支出等

(1) 委託額 (税込)

(単位：千円)

内訳		平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
①	大島やまざくら 指定管理料	4,714	3,886	4,202	
②	大島ゆきわり荘 施設維持管理業務委託料	454	458	462	
計		5,168	4,344	4,664	

(2) 財政援助額 (税込)

(単位：千円)

内訳		平成30年度	令和元年度	令和2年度	備考
①	補助金 (助成金)	0	0	0	
②	貸付金	0	0	0	
③	損失補償	0	0	0	
④	債務保証	0	0	0	
⑤	その他 ()	0	0	0	
計		0	0	0	

8 今後の経営計画等

(1) 次期事業計画

第25期は、売上59,776千円、営業利益57千円、当期純利益528千円の目標を掲げ、次の取組を行います。

1 店舗部門

- ・利用客数の向上を図るために、地域住民とのコミュニケーションを積極的に図り、要望を迅速に営業に反映することで、売上強化を図る。
- ・顧客の中心である高齢者は、雨天時に来店しないことが多いため、1週間の天候状況を把握し商品仕入れを行う。商品仕入れ担当者の体制を正副担当2人制にすることで、廃棄ロスを減少させる。
- ・前期同様POSレジ機の活用により、売れ筋商品の見極めや仕入商品の廃棄削減、低回転率の商品の仕入れ見直しを図り、売上高の増加と原価率の引き下げを図る。

2 移動販売部門

- ・店舗までの移動手段のない高齢者等に対し、移動販売によるきめ細かな販売を行うことで、地域に親しまれる販売戦略を強化する。

(税抜：単位：千円)

	店舗	移動販売	市からの委託料等	合計
第25期 (令和3年度)	45,000	10,530	4,246	59,776

(2) 中長期経営計画

なし

(単位：千円)

決算書 (P296～P297)	7款1項3目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	大島庄屋の家管理運営費		

予算現額	執行額	執行額の財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	市債	その他	一般財源
17,830	16,386			6,800	2,404 (使用料、財産収入、贈収)	7,182
翌年度繰越額	執行残額	執行残額の内訳				
		事業費節減	事業未実施	入札差金	その他	
-	1,444				1,444	

【目的】

豊かな自然と日本の原風景、そこに生きる人々の暮らしや文化をいかした「体験型観光」の受入れを推進することにより、都市部の住民と地域住民との交流を促進し、地域経済の活性化を図る。

令和2年度の取組

【事業の概要(年度目標、実施内容、これまでの経過、目標達成状況など)】

○令和2年度目標

- ・利用者数：4,300人（うち宿泊1,300人、日帰り3,000人）

○実施内容、これまでの経過等

・施設の概要

所在地：大島区田麦1096番地2
 設置：宿泊棟 平成3年度
 体験棟 平成5年度
 構造：宿泊棟 鉄筋コンクリート造2階建て
 体験棟 木造一部2階建て
 施設内容：宿泊棟 客室7室、食堂、浴室2室
 体験棟 広間、調理体験室、座敷、奥座敷
 面積：延床967.07㎡（宿泊棟711.56㎡、体験棟255.51㎡）
 管理：直営（業務委託）
 利用形態：日帰り及び宿泊施設

○施設の管理実績

・利用者数

区分	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			目標	実績
利用者数	4,522人	3,611人	4,300人	1,011人
うち宿泊	1,402人	1,235人	1,300人	194人
うち日帰り	3,120人	2,376人	3,000人	817人

決算書 (P 296～P 297)	7 款 1 項 3 目 観光交流費	所管課等	施設経営管理室
事業名	大島庄屋の家管理運営費		

・施設管理における市の収支状況

区分	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度		
			予算	実績	
①収入	使用料収入	3,884	3,505	4,445	677
	その他	13,258	10,505	12,765	1,727
	合計	17,142	14,010	17,210	2,404
②支出	施設維持管理費	25,617	24,767	17,830	16,386
	うち委託料	12,338	12,217	9,523	9,522
	その他	-	-	-	-
	合計	25,617	24,767	17,830	16,386
③公費投入額 (②-①)	8,475	10,757	620	13,982	
④利用者 1 人当たりの 公費投入額 (単位:円)	1,874	2,979	144	13,830	

○目標達成状況

- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、4月14日から5月31日まで休館したほか、例年予約が入っていた県外利用者等のキャンセルが相次ぎ、利用者数は1,011人(宿泊194人、日帰り817人)となり、目標を達成できなかった。

【事業の成果】

- ・新型コロナウイルス感染の懸念から、これまでの主な利用者であった首都圏の学校等との交流を行うことはできなかった。一方で、新たに県内の学校や団体による体験旅行を受け入れ、また個人・家族向けのランチサービスを開始するなど、新たな利用者との交流が図られた。

【今後の課題、反省点、目標が達成できなかった要因など】

- ・感染症対策を講じながら、首都圏の学校等との交流再開や、県内の団体及び個人・小グループといった新たな利用者との交流促進を図る。
- ・施設・設備は建設から30年が経過し老朽化が進んでいることから、利用者の安全や利便性に配慮しながら計画的な修繕を行い、適切な維持管理に努める。

【執行残額について】

その他：利用者数が減少したことによる光熱水費及び手数料等の執行残 1,444

